

広報

おおだて

11月1日号
(No.353)

編集と発行 大館市役所

住民登録

(10月1日現在)

人口・72,792 (+36)
 { 男34,770
 女38,022
 世帯数・21,845 (+18)
 ()内は前月比



サツマイモ掘り

「ホラ、こんな大きなイモができたぞ」。大館八幡幼稚園の園児たちが、先月二十日、同園の栽培園でサツマイモ掘りを行いました。

同園では、園児たちを土に親しませ、収穫の喜びを味あわせようと毎年行っているもので、東台にある栽培園には、トウモロコシや枝豆、サツマイモ、大根などが植

えられています。

園児たちが手を通った黒い土から土を掘り起こすと、大きいイモや小さいイモが次々に顔を出し、大喜びでとり出していました。

今年は昨年比べて半分以下の収穫でしたが、それでも大きなダンボール箱にいっぱいイモがとれ、園児たちは収穫の喜びをかみしめていました。

広報 歳時記

夜なべ

夜なべ——知ってはいいても、今では口に出して使うことのほとんどなくなった言葉の一つです。

夜なべという言葉の語源を辞書で見ると、二つの考え方があろうです。一つは「昼ヲ夜ニ延ベテ時間ヲ補フコト」(大言海)。つまり「夜延べ」が夜なべになったというもの。もう一つは「夜、鍋をかけて夜食をとりながら仕事をする」ということによるという(広辞苑)。こちらは「夜鍋」に由来するというものです。

いずれにしろ、夜なべは歳時記では秋の季節。昔の農村では秋の夜長に男は縄ないやムシロ編みなどを、女は糸つむぎ、針仕事などをしたものです。



こんなときの明かりは、鍋がかかったイロリ(火)だったかも知れません。

「きりたんぼの里に

稔りとの出会い」

11月1日から7日は

第106回秋田県

種苗交換会です